

田辺かずき 県政報告

古賀発！ただいま
県政刷新中！

第33号
2016年2月発行

<田辺かずき事務所>
〒811-3103 福岡県古賀市
中央 1-6-41-203
TEL : 092-692-8510
FAX : 092-410-7730
メール : challenge@
tanabe-kazuki.jp

【裏面もあります！】
■介護保険料の推計判明

農商工息づく「まち」の魅力 企業視察、市民の皆さんと交流も

福岡県の小川洋知事が1月22日、地元・古賀市を訪問。私も全行程に同行し、企業や農業などの現場視察や市民の皆さんとの意見交換を行いました。都市近郊で自然に恵まれ、農商工が息づくまちの魅力、そして



古賀に来訪し、市民の皆さんと交流した小川洋知事（後列中央）＝2016年1月22日

市民の皆さんの「地域力」が十分に伝わったと思います。ご協力いただいた皆様から感謝いたします。「現場主義」を掲げる知事が県内60市町村を回り、県民と直接対話する取り組みの一環。今回、中村隆象市長や私とともに市内各地を巡りました。

訪問の全行程は半日。古賀の魅力と可能性、課題の全てを伝えられることは出来ませんが、郷土料理「鶏すき」を広げる取り組みの説明からスタートし、大規模未利用地の「玄望園」▽女性農業者の皆さんによる農村加工所「まんま実くや」▽空

調機器で世界に誇る「西部技研」▽古賀に本社機能を移転した「如水庵の筑紫もち」で知られる五十二萬石本舗古賀工房——を訪ねました。

さらに、市役所での意見交換では▽製造品出荷額の食品分野で県内2位を誇る特性を生かした「古賀モノづくりに博 食の祭典」▽古賀東中学校「朝勉&朝弁」にみられる地域と学校が一体となった子育て（学力と生活習慣の向上）の先進事例▽全国最優秀賞に輝いた若手農業者を中心としたスイーツコートの特産品化と食育活動▽市民目線で活動する「古賀すたいる」によるネットを活用した地域活動の情報発信などについて、それぞれ代

表者の皆さんに紹介していたできました。それぞれの活動に対し、知事から感謝と激励の言葉をいただきました。最後に、私から知事の訪問に感謝し、「古賀の魅力」をいっそう引き出していくため、引き続き県と市がしっかりと連携して取り組んでいけるよう要望を申し上げます。今回の知事訪問は今後の県政に生かしていくうえで有意義なものとなりました。引き続き、古賀市をはじめ市町村と県をつなぐ活動に取り組んでいきます。



農村加工所「まんま実くや」では女性農業者の皆さんと交流

田辺の政治活動を連日発信しています！

田辺かずき で 検索

ブログ（政治活動日記）
公式ホームページ

<http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/>
<http://www.tanabe-kazuki.jp/>
<http://www.facebook.com/kazuki.tanabe>
アカウント→ @tanabe_kazuki

facebook
Twitter

裏面につづきます

県市の連携を強化 — 古賀の魅力を引き出すために



西部技研の工場では限社長から製品技術について説明を受ける

介護保険料の2025年推計が判明 — 12月定例会

小川洋知事は県議会12月定例会本会議で、「団塊の世代」が全て75歳以上となる2025（平成37）年度における福岡県の介護保険料（月額）の推計が8072円となることを初めて明らかにしました。今年度の5632円に比べて43%の増加。介護予防や健康づくりに関わる政策の一層の推進が求められます。

これは私の本会議・一般質問に対して答弁したもので、翌日朝刊で西日本新聞も報じました。知事は25年度の介護給付費の推計についても、昨年度の約3686億円と比べて49%増の約5510億円となることを明らかにしました。

私は質問の中で、県が現在策定作業を進めている地域医療構想の実現に伴い、介護保険料などの増加が想定されると指摘。知事は「次期介護保険事業支援計画の策定に当たっては、介護サービスの提供体制に加えて、健康寿命の延伸を図り、高齢者の生活の質を高め、ひいては介護給付費などの削減にもつながる健康づくりや介護予防等を盛り込む。これらの取り組みで高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう地域包括ケアシステムを推進していく」との考えを示しました。

<田辺かずき プロフィール>

- 1980年5月16日生まれ
- 1987年 暁の星幼稚園 卒園
- 1993年 花鶴小学校 卒業
- 1996年 古賀中学校 卒業
- 1999年 福岡県立福岡高校 卒業
(高51回、現在は同窓会顧問)
- 2003年 慶應義塾大学法学部法律学科 卒業
毎日新聞社 入社、福井支局 配属
- 2006年 大阪本社社会部 配属
- 2011年 福岡県議会議員 初当選
厚生労働環境委員会（～13年）
国際交流推進対策調査特別委員会（～13年）
- 2013年 新社会推進商工委員会（～15年）
防災及びエネルギー・水安定供給調査特別委員会（～15年）
- 2015年 福岡県議会議員 2期目当選
- 【所属】 福岡県議会・広域行政推進対策調査特別委員会副委員長
同・農林水産委員会、議会運営委員会
同・タイ友好議員連盟事務局長
全国青年都道府県議会議員の会（福岡県世話人）
民主党青年委員会事務局長
民主党福岡県第4総支部幹事長
- 【家族】 会社員の妻、8歳の長男、5歳の長女



【小川洋知事の訪問詳報】視察は温泉で知られる薬王寺からスタート。旅館「鬼王荘」で、古賀の郷土料理「鶏すき」を食べ、地元有志でつくる「九州鶏すき学会」会長で農家の中野晃さんがその魅力を解説。その後、市長や教育長から古賀市の概況を説明した。

J A粕屋北部プラザでは、農村加工所「まんま実くや」の手作りにこだわった加工品づくり、郷土食の伝承などについて代表の船越美治代さんが説明。調理場はジャムづくりの真っ最中で、あまおう、ネーブルなどのジャムや、「だぶ」を試食した。なお、「まんま実くや」は2014年度の食アメニティコンテ

ストで優秀賞（農村振興局長賞）を受賞し、全国でも高く評価されている。続いて、世界に誇る空調機器技術を持ち、創立50周年を迎えた「西部技研」の工場を訪ね、隈扶三郎社長から企業理念や歴史について説明を受け、工場を視察。同社は経済産業省「ダイバーシティ経営企業100選」に選定され、女性が輝く先進企業表彰（内閣府特命担当大臣表彰）を受けるなど注目を集めている。五十二萬石本舗の古賀工房は今年に入り、古賀市に本社機能を移転。森恍次郎社長から直接説明を受け、筑紫もちなどお菓子の製造工程を学んだ。最後に市役所へ。食品加工団地を舞台にした

「古賀モノづくり博覧の祭典」について、西昆の代表取締役専務、平嶋健一さんが説明。アーティストの坂崎隆一さんからは、古賀東中学校の「朝勉&朝弁」の取り組みなどを紹介。若手農業者の秋山隆哉さんからは「メロンよりも甘い」とも評されるスイーツコーンの特産品化と幼稚園や保育園での食育活動について。この取り組みで生まれた農業振興ヒーロー「ヨメニコーン改」も知事を歓迎した。まんま実くやの船越代表も加わっていた。

「古賀すたいる」代表の戸田祐子さんからはインターネットを活用して市民の力で古賀の魅力を打ち出していく情報発信



投票に行けば地元のお店で割引サービスを受けられる「選挙割」や国政調査のネット回答促進企画などについて紹介してもらった。

田辺かずき事務所からの おしらせ

【対話集会を開催】

私の県議会活動は地元の皆さんの「声」があつてこそ。市内各地の公民館で対話集会を継続的に開催しており、ご連絡をいただければサークル活動などの地域の皆さんの集まりにも足を運び、県政報告と意見交換をさせていただいています。事務所(092-692-8510)まで。

【県政報告書の発送】

ブログやフェイスブックなどによる連日の情報発信に加え、紙ベースの県政報告書(1~2カ月に1回のペースで発行)で活動をお伝えしており、ご希望の方には郵送させていただいています。県政活動の意義と詳細を記していますので、事務所(092-692-8510)までご連絡ください。